

Passion

Japanese Academy of Prosthetists and Orthotists

主な内容

- 国際福祉機器展H.C.R.2024における広報活動
- 第30回日本義肢装具士協会学術大会（埼玉）の開催報告
- 第31回日本義肢装具士協会学術大会（鹿児島）のご案内
- タスク・シフト/シェア研修会 のご案内
- POアカデミージャーナル・コンテンツ紹介

会報誌

JAPO通信 Vol. **13** 11月号 (2024)

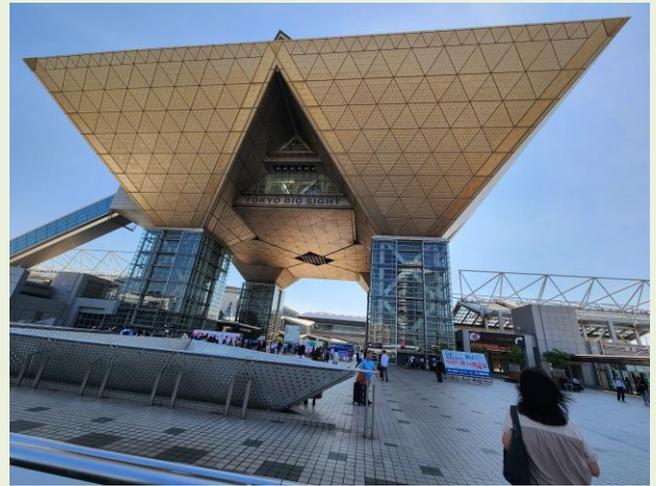
「義肢装具士のしごと紹介」 @国際福祉機器展H.C.R.2024

令和6年10月2～4日の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催された「第51回国際福祉機器展H.C.R.2024」にて、義肢装具士のしごとを紹介するための広報活動を行いました。

展示ブースには、義足・義手ユーザーによる実演、3Dスキャナを使用した装具製作方法の解説、筋電義手体験、下腿義足組み立て体験、相談コーナーなどを設置し、義肢装具士のしごと内容とその役割の重要性、そして魅力的な仕事であることを説明しました。3日間で延べ約420名の方々が訪れました。

会場にいた東江会長に、話を聞きました。「これまで日本義肢装具士協会は、患者様や障がいをお持ちの方々に対して満足度の高いサービスを提供できるよう研鑽の場を義肢装具士に提供してきた。しかし、少子化の影響もあり、義肢装具士を目指そうとする若者が減少傾向にあり、多くの養成所では、入学定員の確保に苦労している。これから本会は、いわゆる“入口問題”に対峙し、効果的な対策を講じていかなければならない。今回、例年同展示会に出展している公益財団法人テクノ

エイド協会から、“義肢装具士のしごとの重要性を唱える啓発活動に、我々の展示スペースを使用してください”とのお声掛けをいただいた。



東京ビッグサイト



テクノエイド協会のブース



イベント内容を告知するボード

この絶好の機会を逃すまいと、一般社団法人日本義肢協会、日本義肢装具教育者連絡協

議会及び一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会 (JASPA) の義肢装具部門に協力を依頼し、4団体による「第51回国際福祉機器展における義肢装具士啓発WG」を立ち上げた。企画案は、本会の「障がい者/パラスリート/義肢装具士啓発WG(委員長：安部勉)」が中心となって作成し、準備にかかる時間のない中で、知恵を出し合い、実現にこぎつけた。特にJASPAの(株)今仙技術研究所、オットーボック・ジャパン(株)、オズールジャパン合同会社、(株)プロテオールジャパン及びナブテスコ(株)の展示協力に感謝申しあげる。

来場者には、福祉に興味を持つ高校生の団体が散見され、ブースに立ち寄る姿も見られ、義肢・装具に多少とも興味を持ったのではないかと思う。是非、この展示を毎年開催できるよう体制を整備していきたい。そして、義肢装具士をめざす若者が増えることを願っている。」

(取材：広報委員会)

義肢装具士紹介 実演

コンピュータ義足 実演コーナー
～義足ユーザーによる日常動作実演～

10月2日(水) 企業:オットーボック ジャパン
① 11:00～11:15
② 13:00～13:15
③ 15:00～15:15

10月4日(金) 企業:ナブテスコ
① 11:00～11:15
② 13:00～13:15
③ 15:00～15:15

筋電義手実演コーナー
～義手ユーザーによる日常動作実演～

10月3日(木)
企業:Ossur ジャパン
① 11:00～11:15
② 13:00～13:15
③ 15:00～15:15

3D技術による義肢装具製作 実演コーナー
企業:プロテオールジャパン

10月2日(水) 14:00～14:15
10月3日(木) 14:00～14:15
10月4日(金) 14:00～14:15

「筋電義手体験」「義足の組み立て体験」「義肢装具に関する相談」は常時開催しています。ぜひご参加ください。 ブース番号:東 2-11-08

実演コーナーのタイムテーブル



義足モデルによる義足の説明



3Dスキャナによる装具製作の説明



義手モデルによる義手の説明

第30回日本義肢装具士協会学術大会 開催の御礼

令和6年7月13日(土)・14日(日)の2日間にわたり、さいたま市にある『埼玉会館』にて、第30回日本義肢装具士協会学術大会を開催いたしました。

我々、義肢装具士は、日々新しい知識や技術を取入れて、臨床の場では実践経験を積み、個々の能力を高めることで、「業」は細分化し「展開」されてきました。医療分野はもちろんのこと、福祉分野においても、携わる多くの職種や、関連する機関との連携、体制の構築においても義肢装具士の存在が必要であり、今後も我々の資格とその知識及び技術を必要とされる「業域」が、さらに広く求められていくと考えます。この思いから、大会テーマを『業域の展開』としました。

多くの皆様にご参加いただき、盛会のうちに会期を終了いたしました。多数の演題発表とご参加いただきました皆様、ご協力いただきました関係各所に深く御礼申し上げます。

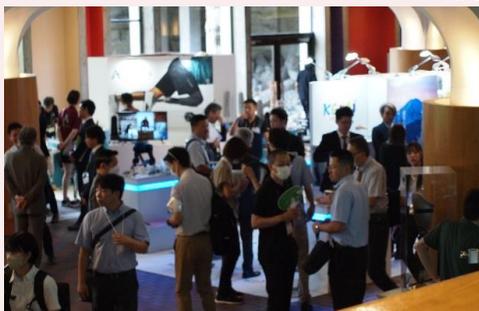


【協賛・寄付金募集結果】

- ① 企業展示：44 企業（有料ブース）
関連4団体（無料ブース：JAPO31 回大会・JSPO40回大会・日本義肢協会・ISPO）
- ② 書籍販売：1 企業
- ③ 講演集広告：18 企業
- ④ 応援企業（早稲田医療学園 義肢装具学科 卒業生）広告：26 企業
- ⑤ ランチョンセミナー：2 企業
- ⑥ スポンサーセミナー：5 企業
- ⑦ 寄付金：2 団体、2 企業、2 個人

【一般演題】 78 演題（英語セッション5 演題、スポンサーセミナー連結演題5 演題を含む）

【指定演題オンデマンド配信】 期間：2024年8月1日～8月30日
視聴回数 1,039 回



【参加者数】

正会員	597名
購読会員	14名
賛助会員	7名
学生会員	184名
非会員	265名
招待者	50名
一般公開参加者	144名
出展関係者	318名
スタッフ関係者	39名
合計	1,618名



第30回日本義肢装具士協会学術大会 実行委員会 一同

第31回日本義肢装具士協会学術大会

大会長 中礼 裕之（株式会社 中礼義肢製作所）

鹿児島は明治維新の成立に貢献した西郷隆盛、大久保利通らの出身地であり、長年続いた武士の世の中から、近代的な国家へと日本が変革を遂げたその革新的ストーリーの原点です。

その鹿児島でこの度、第31回日本義肢装具士協会学術大会を開催させていただくことになり、大変光栄に存じますとともに心より御礼申し上げます。

大会のテーマを“伝承と革新”といたしました。義肢・装具の領域においても、我が国の義肢・装具製作技術の始祖と言ってもいい飯田卯之吉先生から始まり、多くの先人から伝承されてきた知識・技術の伝統と現代のAIやIoTを始めとするデジタル技術が融合し、業務プロセスの改善だけではなく、品質やサービスの向上が確立されつつあります。多くの失敗から新しい知識・技術が次々と生み出され、一昔前の常識が今では新しい常識に置き換わっていることも少なくありません。新しい時代の夜明けを迎えるかのように義肢装具士の一人一人が



伝承と

革新



維新志士となって将来に展開していただきたいとの思いから、本学術大会がこれから先の義肢装具領域の“維新”の一助となることを祈っております。

実行委員会一同、ご来鹿を楽しみにお待ちしております。



@JAP031ST

第31回 日本義肢装具士協会学術大会 鹿児島



会期 2025年7月19日(土) - 20日(日)

会場 カクイックス交流センター
(かごしま県民交流センター)

大会長 中礼 裕之 株式会社 中礼義肢製作所

実行委員長 甲斐 雄介 有限会社 佐賀有蘭義肢製作所

副実行委員長 中野 浩朗 株式会社 長崎かなえ

大会事務局 熊本総合医療リハビリテーション学院 義肢装具学科
〒861-8045 熊本市東区小山2丁目25-35 TEL (096) 380-0704

運営事務局 株式会社コングレ九州支社 <https://www.congre.co.jp/japo2025>
(092) 718-3531 E-mail: japo2025@congre.co.jp

第2回タスク・シフト/シェア研修会 -フットケア・足病分野- (熊本) 第3回タスク・シフト/シェア研修会 -フットケア・足病分野- (大阪) 第4回タスク・シフト/シェア研修会 -フットケア・足病分野- (名古屋) 開催のお知らせ

2024年4月に施行された医師の働き方改革の一環として、義肢装具士に対してフットケア等のタスク・シフト/シェアが厚労省より示されました。これを受け、一般社団法人日本フットケア・足病医学会の協力により、必要な知識・技術を身につけるための「第1回タスク・シフト/シェア研修会 -フットケア・足病分野-」を2023年度に開催しました。

本年度も下記のとおり開催いたします。実技研修の会場は3カ所あり、会場ごとに研修日が異なるので、あらかじめ選択してお申込みください。今回もeラーニングを受講した後に、実技研修を受講していただきます。なお、eラーニングと実技のいずれか一方のみの受講はできません。

【申 込】

受付開始：2024年 9月24日(火) 12:00 (WEBサイトにて告知済み)

受付締切：2024年11月29日(金) 23:45

定 員：熊本会場 30名、大阪会場 36名、名古屋会場 34名
定員に達した時点で申込を締め切ります。

参加費：正会員：50,000円、非会員：100,000円

申込方法：各会場のQRコードからお申込みください。

申込確定後、eラーニング教材受講用のIDとパスワードをメールにてお送りします。

申込 QR コード



熊本



大阪



名古屋

【eラーニング】

受講期間：2024年10月1日～12月31日

内 容：潰瘍治療、創傷管理・治療、血流の基礎、理学療法、フットウェア等(計8時間)

確認テスト：eラーニング受講修了時に確認テストを行います。

確認テスト合格後に実技研修のご案内をメールにてお送りします。

【実技研修】

研 修 日：

熊本会場 2025年1月18日(土)13～17時、1月19日(日)9～16時(予定)
熊本総合医療リハビリテーション学院(熊本市東区小山2-25-35)

大阪会場 2025年2月 1日(土)13～17時、2月 2日(日)9～16時(予定)
国労大阪会館 3階大会議室(大阪市北区錦町2-2)

名古屋会場 2025年3月15日(土)13～17時、3月16日(日)9～16時(予定)
日本聴能言語福祉学院(名古屋市中村区若宮町2-14)

内 容：爪切り・胼胝研磨等のフットケア、免荷処置、断端ドレッシング等(計8時間)

タスク・シフト/シェア研修 WG
委員長 佐周原 義則

直近で発行された「POアカデミージャーナル」のコンテンツをご紹介します。バックナンバーは、本協会WEBサイトから閲覧できます。閲覧には会員番号（ID）とパスワードが必要です。初刊から最新号のすべてが収納されておりますので、是非ご利用ください。

学術誌編集委員会

32巻2号（2024年9月発行） 巻頭言 浅井 香澄 / 編集後記・特集によせて 伊藤 正嗣

特集：こどもの足の発達と足部疾患

- ◆ 『こどもの足の発育と足の痛みの原因となる疾患とその治療』 落合 達宏
- ◆ 『足の成長を助ける運動』 多和田 忍
- ◆ 『小児足部疾患に対する足底装具のアプローチ』 秦 康司
- ◆ 『小児の足部疾患に対する装具療法』 佐藤 一稀、他
- ◆ 『小児の足部疾患に対して処方された足底装具 一症例報告』 伊藤 正嗣

シリーズ：開発物語 『義足膝継手3R85 ダイニオンの特長と開発』 池田 星次、他

シリーズ：義肢パーツの紹介 懸垂システム（ライナーロックアダプタ編）

『LAPOC ライナーロックアダプタの紹介』 鈴木 暁之

『カスケイド ライナーロックアダプタの製品紹介』 田中 彰

技術報告：『新規シート型せん断力センサによる義足適合評価 —ライナーのずれの計測に関する考察—』

樋口 凱、他

その他：全国セミナー『義肢装具士に必要なICF（国際生活機能分類）の基礎知識 ～義肢装具分野でICFを活用するには～』【開催報告】佐藤 寿彦 / 【受講記】豊田 乃愛

32巻1号（2024年6月発行） 巻頭言 村原 伸 / 編集後記・特集によせて 松矢 晃

特集：セントラルファブリケーション

- ◆ 『義肢装具製作におけるセントラルファブリケーション』 早川 康之
- ◆ 『オーストラリアにおけるセントラルファブリケーション・デジタル技術活用の現状』 今井 理沙
- ◆ 『一貫性の製作現場の体幹装具製作における3Dデジタル技術の導入について』 神谷 大地、他
- ◆ 『ダーメンコルセット製作におけるセントラルファブリケーション』 伊菅 亮一
- ◆ 『オルトトップセントラルKAFO の活用事例』 長谷部 朗

シリーズ：義肢パーツの紹介 懸垂システム（ライナーロックアダプタ編）

『オットーボック社製ライナーロックアダプタの紹介②』 八幡 済彦、他

『オズール社アイスロック —②アイスロック562 ハイブリッド—』 國廣 晃矢

技術報告：『陽性モデル修正に既存の3D モデリングソフトを用いた効果について』 野村 知広、他

その他：第1回タスク・シフト/シェア研修会—フットケア・足病分野—

【開催報告】佐周原 義則 / 【受講記】谷川 大輔

中部日本支部セミナー『車椅子の基本と姿勢保持』【開催報告】岩田 崇宏 / 【受講記】今村 友

31巻4号（2024年3月発行） 巻頭言 佐周原 義則 / 編集後記・特集によせて 阿部 伸乃介

特集：フットケア最前線

- ◆ 『下肢慢性創傷の病態と治療』 佐藤 智也
- ◆ 『安全で快適な歩行を目指した義肢装具士とフットケア外来の連携』 橘 優子
- ◆ 『下肢慢性創傷期の免荷装具』 出良 一歩、他
- ◆ 『下肢慢性創傷治療期の免荷装具を用いた理学療法』 今岡 信介
- ◆ 『糖尿病足病変に対する治療用装具について』 上口 茂徳

シリーズ：開発物語 『eLabo アプリ受注システム、アプリ開発—』 奥野 雅大

シリーズ：義肢パーツの紹介 懸垂システム（ライナーロックアダプタ編）

『オットーボック社製ライナーロックアダプタの紹介①』 八幡 済彦、他

『オズール社アイスロック—①ピン式・ランヤード式—』 國廣 晃矢

原著：『義肢装具士教育に係る教員の養成に関する実態調査』 中村 康二、他

症例報告：『足根管症候群を呈した1症例に対する足底挿板療法の効果』 清水 新悟、他

その他：西日本支部セミナー『腰椎分離症の治療と装具療法』【開催報告】藤井 悠輔 / 【受講記】青木 佳歩

2024年度研修セミナー



研修委員会では会員の皆様にセミナーを通じて有益な情報を提供できるよう、年7回の研修セミナー(支部セミナー+全国セミナー)を開催しております。

義肢装具士に必要なテーマ・内容を各支部でピックアップし企画しております。

研修セミナーの詳細は協会ホームページをご覧ください。

研修委員会

委員長 佐藤 寿彦

2024年度 研修セミナー

セミナータイトル	開催日	研修委員会(担当)
坐骨収納型ソケット実技セミナー ライナー編	終了	南日本支部
義肢装具分野での3D技術について	終了	東北支部
最先端医療と義肢装具 ～再生医療におけるリハビリテーションと装具療法～	終了	北海道支部
アルミニウム合金のTIG溶接技術クリニック	終了	西日本支部
走行用義足セミナー	2025年2月23日	中部日本支部
はじめての車いす ～初めの一步～ (仮題)	2025年2月23日	東日本支部
義肢装具に関わる社会保障制度の正しい知識	終了	全国

義肢装具士求人情報

義肢装具士求人情報はホームページの【会員専用】トップページより求人情報をご覧ください。

求人広告をご検討されている企業様は、【義肢装具士の求人】よりお申込みください。

【募集】運動器の健康・日本賞

(公財)運動器の健康・日本協会では、団体・機関及び個人が行った「運動器の健康増進活動」を募集しており、最も独創的かつ優れた活動を「運動器の健康・日本賞」として顕彰します。詳しくは、WEBサイトをご確認ください。

本会は、同協会の団体会員です。
<https://www.bjd-jp.org/award>



お願い JAPOマイページ E-Mailアドレスの登録

『JAPOマイページ』は本会が運営するサイトで、登録されている住所や連絡先などの個人情報の閲覧や更新が可能なシステムです。



登録内容に変更がある場合は、「システム管理番号」及び「パスワード」でログインし、最新の情報に書き換えをお願いいたします。

PO協会からの様々な情報を皆様のE-mailアドレスに送信しますので、未だ登録されていない方は、是非『JAPOマイページ』にアドレスをご登録ください。

会員数 (2024.9.30現在)

正会員：2,239名 賛助会員：34名
購読会員：55名 学生会員：689名

日本義肢装具士協会 会報誌 JAPO通信 第13号

発行日：2024年11月1日

発行元：公益社団法人 日本義肢装具士協会

発行責任者：東江 由起夫

編集スタッフ：広報委員会

委員長：大塚 博

委員：一瀬 優月、鎌田 恭子、藤枝 温子

担当理事：植松 茂也